

大学の研究シーズを磨きあげ、社会に貢献する 世界初のAIによるフルデマンド配車システムを構築

2016年に設立した公立はこだて未来大学発のベンチャー企業であり、移動格差のない社会を目指し、タクシー（デマンド交通）と路線バス（乗合い交通）の長所を融合した、時間・ルートを固定せず乗合い車両の配車決定を行う未来型交通システム「SAVS®」を開発・提供している。ICTとAIを最大限駆使した同社独自の技術で、現在の公共交通において事業者・利用者のみならず、社会が抱える課題の解決に向けて取り組んでいる。

所在地	北海道函館市美原二丁目7番21号 万勝ビル1F	設立	2016年
電話	050-8880-0808	資本金	9,200万円
URL	https://www.miraishare.co.jp/	従業員数	6人
代表者	代表取締役 松舘 渉		



世界初のAIによる完全無人・リアルタイム・フルデマンド配車システムを開発

「SAVS」とは、タクシーのような「オンデマンド配車」と、路線バスのような「乗合運行」の長所を掛け合わせ刻々と変化する人の移動要求に合わせてAIがリアルタイムに走行ルート決定・便乗配車計算を行うサービスである。乗客送迎中においても新たな乗客の配車要求に応えることができるため、空車率が低下し限られた車両で最大限の輸送効率を引き出すことができる。リアルタイムにフルオンデマンドで配車できるシステムを開発し、実証実験を実施したのは同社が世界初となる。



世界初のAIによる配車システム

大学の研究シーズを磨きあげ、社会課題の解決に貢献できるシステムを提供

「SAVS」は人の移動を活性化させることで、その地域が抱える課題を解決し、地域経済を活性化させるシステムである。現在までに全国50以上の地域で実証され、北海道をはじめ10以上の地域で実装化されている。また、経済産業省の補助事業で、群馬県や栃木県等の複数地域においてデイサービス利用者が送迎車の空き座席に同乗して買い物や外出することができるドアツードアのリアルタイム配車サービスの実証実験を実施したほか、NEDOのAI社会実装プロジェクトでも検証を実施した。



移動の活性化が地域課題を解決

目的をひとつにして集まった、少数精鋭による質の高い研究開発

同社はシステムの研究開発という分野で優れた技術を持った、少数精鋭の研究者・エンジニア集団である。社員は「交通課題・地域課題の解決」という同じ目的に向かって一丸となって取り組んでいるため、良好な関係性が構築されている。性別・年齢・経験を問わず、勤務地も本社・事業所に縛られることなく希望の場所で勤務可能という条件で常時採用を行っており、ICTを活用した柔軟で働きやすい職場環境を構築している。また、同社代表は地域での雇用創出・人材育成にも貢献している。



少数精鋭の研究者・エンジニア集団